

令和 7 年度 北海道鷹栖高等学校 学校経営シラバス

目指す学校像	目指す生徒像	目指す教職員像
地域社会や時代のニーズに的確に対応できる学校	変化の激しい社会の中で自分らしい生き方を実現する生徒	生徒、保護者、地域、同僚から信頼される教職員
○ 小規模校の特色を生かし、地域社会に貢献する学校 ○ 一人ひとりの生徒を大切に、よさや可能性を伸張させる学校 ○ 教職員が「教育のプロ」としての力量を発揮し、諸課題の解決に向け挑戦する学校 ○ 生徒や保護者、地域社会から信頼され選ばれる学校	○ 自ら学ぶ意欲を持ち、自らの将来を主体的に創造する生徒 ○ 思いやりの心を持ち、自他の人権を尊重する生徒 ○ 健全な心身を持ち、毎日の学校生活をひたむきに努力する生徒 ○ 地域を愛する心を持ち、地域社会に広く貢献する生徒	○ 生徒一人ひとりの個性を尊重し、よさや可能性を伸ばす教職員 ○ 生徒の興味・関心を引き出す教材研究や学習者中心の授業を展開する教員 ○ 特別な配慮や支援を必要とする生徒の特性等を理解し実践に生かす教職員 ○ 他の教職員と積極的に関わり、学校運営の持続的な改善に求められる役割を果たす教職員

【育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）】
○ 各教科等において習得する知識や技能を相互に関連付け、自分とは異なる意見や情報に耳を傾けながら主体的に判断する力 □知識・技能 □傾聴力 □判断力 ○ 良好な人間関係を構築し、他者を思いやり協働して諸課題に対して最適解を探究する力 □協調性 □コミュニケーション力 □課題設定力・解決力 ○ 自己肯定感を高め、自らの将来への展望を見出し、進路実現に向け継続してひたむきに努力する力 □自己肯定感・自己有用感 □自己実現力 □勤勉性 ○ 地域社会に積極的な参加ができ、他者とともによりよい社会を創る人材として社会の課題を自分事として認識する力 □行動力 □創造力 □論理的思考力
【教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）】
○ 多様な興味・関心や進路目標に対応できる柔軟で選択性の高い教育課程の編成・実施 ○ 外部講師の活用や校外学習など地域の教育力を最大限に活かした教育課程の編成・実施 ○ 実社会で活用できる各種検定や資格取得も視野に入れた教育課程の編成・実施 ○ 「総合的な探究の時間」を軸とする教科横断型の教育計画の推進 ○ 「主体的・対話的で深い学び」の実践と「指導と評価の一体化」の具現化
【入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）】
○ 大学進学等、進路について明確な目標を持ち、実現に向けて意欲的に取り組む生徒 ○ 地域との交流、部活動、生徒会活動、各種資格取得等に興味・関心を持ち、積極的に取り組む生徒

領域	対象	中期目標	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	新しい時代に必要な資質・能力の育成	1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 2 教科等横断的に資質・能力を育成する校内体制の構築 3 ICT環境を活用した「個別最適な学び」、 「協働的な学び」の実現	1 学習者の視点に立った授業改善と観点別評価の充実が図れたか 2 生徒の学びを深めるため、共通のビジョンや目標を設定するなど、教員間の協力・連携体制の促進が図れたか 3 ICT機器を活用した個に応じたきめ細かい学習指導が図れたか
	生徒指導	自他を尊重する共感的な人間関係の育成	1 基本的な生活習慣の確立 2 発達支持的生徒指導の充実 3 自己肯定感・自己有用感の育成	1 挨拶や言葉遣い、身だしなみやネットマナー等の指導により、生徒の自己指導力の向上を図れたか 2 生徒一人一人の情報が全教職員間で共有され、統一した生徒指導が行われたか 3 SC、SSW、関係機関等と連携して困り感を持つ生徒への支援ができたか
	進路指導	自らの目標達成に向けて意欲的に取り組むキャリア選択能力の育成	1 組織的・計画的・系統的なキャリア教育の推進 2 生徒の自己理解に基づく進路実現の充実 3 進路情報の適切な提供	1 進路シラバスを活用したキャリア教育力の向上が図れたか 2 スタディサプリ、ポートフォリオ、模擬試験や面談等の活用を図れたか 3 進路情報の教職員、生徒、保護者への提供は適切に行われたか
	健康・安全指導	心身の健康増進と安全意識の育成	1 生徒の生命や安全を守る体制の充実 2 特別支援教育の充実 3 危機管理能力の充実	1 教科横断的な視点で、命の大切さ、自己の存在のかけがえのなさについて伝えられたか 2 配慮や支援が必要な生徒の状況把握と組織的な対応が図れたか 3 生徒の危機管理能力向上に資する教育活動の充実が図れたか

領域	対象	中期目標	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点
学校運営	信頼される学校づくり	教育活動に関わる情報提供と保護者、地域等との連携協力	1 保護者や地域等と協働した教育活動の充実 2 学校情報の効果的な発信 3 生徒指導力の充実	1 学校評価や自己評価をもとに、保護者・地域の期待に応える教育活動を展開できたか 2 学校ホームページ等で本校の特色や魅力を感じる情報を素早く発信し、保護者・地域等の学校理解を進めることができたか。 3 生徒の人権を尊重し、発達段階や特性等に応じた生徒指導ができたか
	組織運営	学校課題の解決に向けた持続可能な組織体制の確立	1 学校経営方針に基づく業務の推進 2 教職員が互いに敬意を持ち協働的な組織体制の構築 3 関係機関との連携による持続可能な教育活動の充実	1 学校課題の解決に向けて、分掌・学年が短期的・中期的な視点から評価指標を設定し、業務の推進・評価・改善に取り組んだか 2 同僚との信頼関係を構築し、生徒の成長のために協力して業務を推進できたか 3 地域の教育力を最大限に活用し、地域と一体になって生徒を育む教育活動が図れたか
	教職員の資質向上	研修等による専門性と資質・能力の向上並びにコンプライアンスの確立	1 学び続ける姿勢及び資質・能力の向上に向けた研修の充実 2 服務規律の遵守に資する校内研修の充実 3 ワークライフバランスを実感できる組織風土の醸成	1 目指す教職員像の実現に向けて、教職員一人一人が不断の自己研鑽に励んだか 2 教育公務員としての自覚を持ち、服務規律の保持に努めたか 3 勤務時間を意識した働き方を実践し、健康的に生徒と向き合うことができたか